

7 原材料使用額等

- ・ 原材料使用額等は5兆9006億円で、前回と比較すると4502億円(△7.1%)減少した。

(1) 産業別の状況

産業別にみると、「印刷・同関連業」が9007億円(構成比15.3%)で最も多く、次いで「情報通信機械」8022億円(同13.6%)、「輸送用機械」6564億円(同11.1%)の順となっており、この3産業で全体の4割を占めている。

前回と比較すると、「石油・石炭」、「ゴム製品」など6産業が増加し、他の産業は減少した。増加額では、「精密機械」が419億円(13.3%)で最も大きく、次いで「鉄鋼業」が234億円(19.9%)となっている。減少額では、「情報通信機械」が2759億円(△25.6%)で最も大きく、次いで「輸送用機械」が482億円(△6.8%)、「印刷・同関連業」が396億円(同△4.2%)の順となっている。

(付表8)

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆2457億円(構成比38.1%)で最も多い。

前回と比較すると、「20~29人」、「50~99人」、「300~499人」が増加し、他の規模では減少した。

増加額では「300~499人」が465億円(14.3%)、減少額では「500~999人」が1732億円(△30.6%)で最も大きい。

(付表9)

(3) 原材料率(従業者30人以上)

生産額に占める原材料使用額等の割合を示す原材料率は、57.0%で、前年より0.1ポイント減少した。

産業別にみると「石油・石炭」が73.4%、「情報通信機械」が73.3%、「精密機械」が70.6%の順で大きく、「飲料・飼料等」が31.3%で最も小さい。

(図21、付表11)

※ 「原材料率」は、利用上の注意の「2 統計表の項目の説明(4)」参照

図21 産業中分類別原材料率(従業者30人以上)

